

専門研修「中堅保育士」

【第1回】	【実施日】	10月2日(水)、11日(金)
	【受講決定者数】	33名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の専門性とは日々の保育や子どもの育ちをいかに代弁して保護者に伝えていけるかが大切だと改めて感じました。また、自治体によって様々な子育て支援の方法がある中で保育所が基本的な役割を担っていることを自覚して発信していきたいです。 ・弁護士さんからお話を聞くことは普段の生活でなかったので、とても貴重な時間になりました。事例を通して項目ごとに説明があり、わかりやすかったです。 ・保育の中で、安全対策という項目はとても重要であり、現場で障害予防は取り組まなければならない必須項目なので園全体で共有したいと思いました。 ・中堅保育士としての心構えはしていたつもりでしたが、改めて新人に対してだけでなく職場のコミュニケーションが大事だと気付かされました。
【第2回】	【実施日】	11月11日(月)、15日(金)
	【受講決定者数】	50名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・若手保育士を育てようと思う気持ちだけでなく、若手保育士自身が「成長したい」と思えるような関わり方が大切だと改めて認識することができました。そして、日々のコミュニケーションは若手のニーズに合わせることで、押し付けに感じないような育成を心がけたいと思います。 ・保育計画の立て方は自治体によって様々な書式があるが、子どもの姿から指導計画にしていくということが大切であると改めて学びました。 ・公務員としての仕事、求められている事の視点を学べ、また他区の状況を知る事が出来て、よりわかりやすかったです。 ・多方面の分野からの講師の方の話をきくことができ勉強になり、視野を広げることができました。また他区の方との交流は非常に貴重な機会であり、新しい手法なども知ることができました。